

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel/Fax : 042-725-2545)

行方不明な核燃料

毎日新聞は今年五月の報道で、「日米両国はモンゴルに対して、使用済み核燃料の処分場建設を求めて昨年九月から極秘交渉を進めている」と伝えました。

この報道後、モンゴル国内では市民が猛反発し、計画撤廃と情報公開を求める運動を展開しました。結果、「九月下旬に計画は白紙撤回された」と、毎日新聞は十月一日付けで明らかにしています。

この交渉で日米政府は、「モンゴルが『核のゴミ』を引き受けてくれるなら、見返りとして原子力発電所建設の技術援助をする」と申し入れていました。国内では引き受け手が無い処分場を、援助を条件に原発後進国に押し付けるという発想は狡猾です。日本がこれまで、過疎に苦しむ自治体に、交付金を見返りとして原発建設を受容させてきた構造と全く同一です。恥ずべき所業としか言いようがありません。

根本の問題は、「人類は核廃棄物の処分方法を知らない」ということです。後始末が不可能なゴミを日々生産している原発を止めて、代替エネルギー開発による新しい社会の仕組みを目指す政治を、私達は心から求めます。

《脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名》

2012. 2. 28 まで続けられます。一人でも多くの方に広めましょう。

- ・呼びかけ団体：「さようなら原発」1000万署名 市民の会 (Tel:03-5289-8224)
- ・呼びかけ人：内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田慧・坂本龍一・澤地久枝・瀬戸内寂聴・辻井喬・鶴見俊輔

呼びかけ団体・ホームページ
<http://sayonara-nukes.org/>



【読者から・ヨメーる】

『ニュース・8号』で、森さんの寄稿を拝見しました。私は動物を飼っていませんが、いたいたいな命を残して避難せざるを得なかった方たちの心の痛みを思いました。森さんのような活動もニュースで知ることができて良かったです。自分の愛する小さなものをとおして、それを破壊し、奪う巨大な闇の力と闘う気持ちが生まれるように思います。「まめちび」のブログも読みました。

《神奈川県・Yさん》

【福島より・声の便り】

『ニュース・8号』、ありがたう。『警戒区域に残された動物達』は辛いね。私が猪苗代の避難所で知り合った双葉町のOさんはね、震災前まで大型犬を二匹飼ってたんだって。よく車に乗せて海岸に行って遊ばせていたんだと。地震と津波で緊急避難になった時、犬達は綱を外して置いてきたって。その後、Oさんは避難所を転々としながら、ずーっと犬達のことを頭から離れなくて、毎日インターネットで情報を見ていたんだって。ある日、その一匹とそっくりな犬が九州で里親さんに保護されているっていう情報があったの。電話で確かめて、福岡まで犬に会いに行ったんだよ。犬もすぐにOさんが分かって、抱き合って涙流して喜んだんだって。でも、避難所や仮設住宅では飼えないからね。あと一匹は、今も情報を探してるけどね。人間だけじゃないんだよね。《双葉町・Kさん》

《ツイッター有志による脱原発デモ》 11月5日(土) 13:30~/@渋谷<宮下公園北側>集合

Twitter で集まった個人有志による脱原発デモです。特定の政治的スタンスに依ることなく、脱原発のみを唯一のポリシーとしています。原発を止めたい人は誰でも参加できます。プラカードや太鼓などは各自でご持参下さい。【<http://twitnonukes.blogspot.com/> 及び、@TwitNoNukes より】

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。